

令和3年度エコマネジメント長野 内部環境監査の実施結果

実施概要

1 監査対象

- ・地域ごと、管内の被監査箇所（別表1）から、監査を実施する所属を概ね3分の1程度選定。（選定は、各エコマネジメント長野合庁事務局とエコマネジメント長野推進事務局が行う。）
- ・選定に当たっては、所属の特性や実情を踏まえ、管内でできるだけバランスが取れるように選定。
 - ①環境負荷の大きい所属（試験研究機関、実業系高等学校）
 - ②庁舎管理担当課（財産活用課、総務管理課等）
 - ③単独現地機関
 - ④高等学校
 - ⑤庁舎入居機関など

2 実施方法

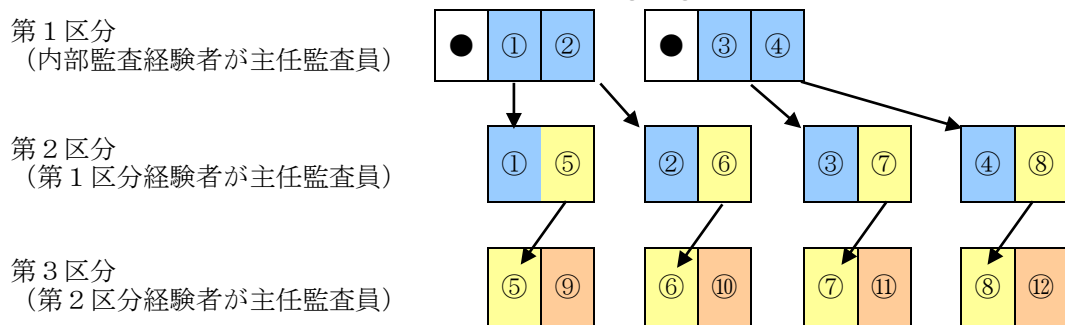
- ・内部環境監査員の力量向上、監査の効果的実施のため、監査を段階的に実施（第1区分の監査員が第2区分の主任監査員になる等のチーム編成による）。
- ・さらに、監査の第1区分に外部環境監査人（環境マネジメントシステム審査人）が参加し、その指導、教育の基に監査を実施（1地域2箇所程度）。

第1区分：内部監査経験者が主任監査員となり、チームを編成（外部環境監査人が参加）

第2区分：第1区分経験者が主任監査員となり、チームを編成

第3区分：第2区分経験者が主任監査員となり、チームを編成

【実施例（1チーム2人体制）】（●：外部環境監査人、①～⑫：内部環境監査員）



3 監査期間

令和3年12月8日～令和4年1月31日

4 監査項目

チェックリスト（様式 U2）及び判定フローチャート（監査基準）に基づき監査を実施。

実施結果

1 判定事項

- ・監査実施所属 92 所属（うち外部環境審査人が参加した監査 18 所属）
- ・「優良」135 件、「指導」20 件、「指摘」8 件

2 主な優良事項

所属名	内 容
岩村田高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマネ掲示板にエネルギー使用量を掲示するとともに、昨年度同時期と比較して、増減を確認している。大幅に増加している場合は要因を究明し対策をしている。 ・水道の検針メーターを毎日チェックし、「水道メーター検針台帳」に記録を行い、使用料の実態把握に努めている。 ・気温上昇の抑制や日射負担低減のため、事務室、校長室などにすだれを設置した。 ・照明器具の交換時に併せてLED化を図っている。 ・生徒会の呼びかけにより46名の生徒が地域貢献の一環として国道141号沿いの特定外来生物オオキンケイギクの抜き取りに参加。 ・ボランティア班が4月からほぼ毎月学校周辺のゴミ拾いを実施した。
佐久地域振興局 総務管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・合庁の太陽光発電について局ブログに掲載しゼロカーボンPRしている。発電データを提供できる旨も記載している。 ・庁舎のエネルギー使用量のグラフを庁内所属へ送付するとともに掲示板へ掲出して周知している。 ・執務室の不要な蛍光灯の取り外し ・廊下照明の間引き ・階段室、トイレ照明の人感センサー化 ・エコドライブ講習 ・用紙類は裏面使用の徹底とリサイクルを促進するためそれぞれの用紙置場を設定している。
上田建設事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週開催の課長会議・請負人等選定委員会をペーパーレスとしている。 ・所全体においてもOA用紙消費削減のため、裏紙利用を原則としている。 ・昼食休憩時や時間外は不要な照明は原則消灯している。
諏訪清陵高校	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議は電子データで行っている。 ・校舎内のトイレの照明は人感センサーによりON・OFFの切り替えを行っている。 ・校舎内の廊下の水栓はすべて自動水栓化し、水の流しっぱなしを防止している。 ・これまでに事務室、会議室、保健室、進路指導室、特定の教室、大体育館、昇降口前の街灯のLED化を行っている。また、今年度中に図書館のLED化を行う予定である。

諏訪清陵高校	<ul style="list-style-type: none"> ・附属中学校の屋根のソーラーパネルで太陽光発電を行っている。 ・11月26日に毒劇物の流出、12月2日に灯油の流出を想定した訓練を実施し、手順の確認を行った。
上伊那地域振興局 総務管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯室内に水の節約を促す旨を掲示する等、職員に働きかけを行っている。 ・下半期に様々な使用料が増加するため、上半期の実績を周知している。 ・A重油使用料について、毎日確認して、削減目標の達成に努めている。
辰野高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・不在時、昼休みの消灯、不在時の冷暖房設備のスイッチオフ等を周知徹底している。 ・G1・G2環境目標の監視測定を四半期ごとに確認し、職員会議において周知している。
南信州地域振興局 農地整備課	<ul style="list-style-type: none"> ・県営事業の工事・委託業務の発注の際に特別仕様書に明示し環境法令等の遵守を求めている。 ・農地整備課側も、法令遵守を目的に、技術者研修及び課会等を利用した職員研修を積極的に実施した。
飯田建設事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・合庁周辺の美化清掃に参加。 ・建設業従事者が多数出席する技術者セミナーで再生資源の利用促進について周知。 ・(一)時又中村線において、地域住民と植栽を行い、プレスリリース及び所ホームページなどで積極的に環境活動の取組のPRをしている。 ・環境活動レポートを印刷し、総務課受付横に設置し、外部の方にも見ていただける状態にしている。
工業技術総合センター環境・情報技術部門	<ul style="list-style-type: none"> ・環境掲示板にエネルギー使用量の状況について、グラフにして掲示している。 ・見学会開催時にはリアルタイムのエネルギー使用量等を表示し、環境活動への意識啓発を行っている。 ・一部施設は県有施設初の『ZEB』として建設し、ZEB施設普及のため外部発表を行っている。
野菜花き試験場	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量のデマンド装置を導入し、使用量が過大の際は必要最低限となるよう施設全体で調整する取組を行っている。
白馬高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs等に積極的に取り組んでいる。 ・HPにて、環境活動や取組を積極的にPRしている。
長野東高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費について、月ごとに使用量を把握し、削減に向けて監視している。 ・特に水道料については、毎週2回(月・金)の水道メーターの検針を実施して、漏水防止に努めている。

総合県税事務所	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針専用の掲示コーナーを設け、来庁者も見ることができるよう数か所に掲示している。
北信保健福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用量「飯山庁舎の見える化(グラフ)」を庁舎玄関、会議室、2階事務機械室に掲示。 庁舎の外周について、定期的に美化清掃(ごみ拾い等)を実施している。(毎年5月から10月まで月2回) 毎年、庁舎前国道沿いに花壇を整備している。(毎年6月～11月)(飯山市美化運動に協力)

3 主な指摘・指導事項

- 緊急事態対応手続書の未整備
- 産業廃棄物管理票(マニフェスト)交付状況の未報告・報告の遅れ
- 産業廃棄物保管場所の非表示
- フロン排出抑制法に基づく点検の未実施等

法令遵守
項目

4 実施結果の各所属への反映方法

- 監査における個別の指摘・指導事項については、早期に適切な対応が必要なものについて、年度内を目途にフォローアップを実施。
- 率直的な取組事例については、各所属から詳しい取組内容や写真等の報告を受け、研修会での紹介や環境活動レポートへの掲載等により、取組の水平展開を図る。